

# 【国語・中2・「月夜の浜辺」】①

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) ・抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (1)E
- (思、判、表等) ・詩の構成や表現の効果について考えることができる。 CI
- (学びに向かう力等) ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

## ICT活用のポイント

- ・**反転学習**を取り入れたことによる、本時における協働的な学びの質的量的な確保

### 【つかむ】

- ・**家庭学習の成果① (詩の内容)**を共有し、めあてを確認する。

詩の表現の工夫から考えたことを交流し、朗読の工夫を考えよう。

### 【追究する】

- ・**家庭学習の成果② (表現の工夫から考えたこと)**を交流する。
- ・朗読の工夫を考え、朗読練習をする。

### 【まとめる】

- ・本時の振り返りを学習支援ソフトのシートにまとめる。

## 事例の概要

- 家庭学習の成果①について共有し、単元及び本時のめあてを確認する。

## 【事例におけるICT活用の場面】

- ホワイトボードアプリのシート**に、**家庭学習の成果②**について個人で記入する。
- それぞれが書き込んだ内容を**班で共有**して話し合う。
- 班で話し合った内容を**クラス全体で共有**する。
- 学習支援ソフトの録音機能**を活用して、個人で朗読練習をする。

- 振り返りを学習支援ソフトのシートに書き込む**ことで、学びを蓄積する。

## 【家庭学習】

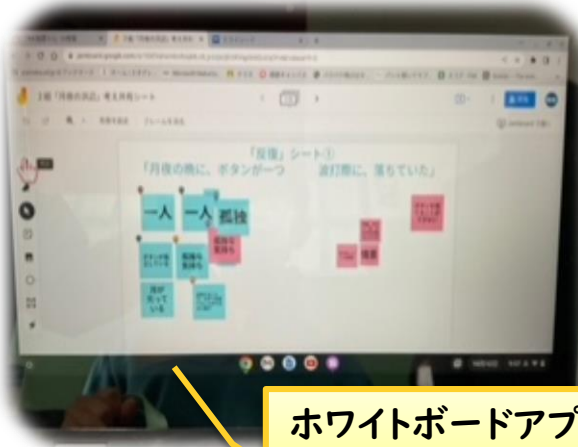
- ・配信動画をヒントにして
- ①詩の内容
- ②表現の工夫  
(ア:反復 イ:対句 ウ:反語) から考えた情景や心情についてワークシートにまとめておく。

# 【国語・中2・「月夜の浜辺」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】

### ○ 個人の追究

学習支援ソフトのシートに自分の考えを入力する。



ホワイトボードアプリ  
付箋機能

表現の工夫ごとに3枚のシートが用意されていました。生徒は付箋機能を用いてそれぞれのシートに自分の考えを入力しました。自分の考えと似たものがあった場合は、その近くに付箋を貼るよう教師が指示したことで、個々がグルーピングの視点をもち活動に取り組むことができました。

## 【事例におけるICT活用の場面②】

### ○ 班や全体での共有

お互いの考えを交流し共有する。



文章のこの部分に作者の思いが感じられると思ったんだ。



学習支援ソフト  
データ送受信

### ポイント

全体共有での  
教師の問い返し

S: 反復表現があることで、「ぼく」とボタンが似ているような感じが伝わってくる気がした。

T: どういうところが似ていると思ったの？

S: ボタンも「ぼく」も一つ…一人？  
できみしい。

T: 他のみんなはどう思う？

## 【事例におけるICT活用の場面③】

### ○ 話し合いを生かした朗読練習

朗読の工夫を考え、朗読練習をする。



学習支援ソフト 録音機能

班や全体で交流した内容をもとに朗読の工夫を考え、練習しました。ヘッドセットを用いることで周囲を気にすることなく、集中して練習に取り組む姿がみられました。また、録音した声を聴くことで学びの修正や改善が繰り返され、自身の成長や変化を実感することができました。

【活用したソフトや機能】  
学習支援ソフト